



## 昨年のアジア競技会での雪辱なるか 2007ASTC アジア選手権トンヨン大会 (6/1～6/3 開催)

### エリート男女 12 名、U-23 男女 4 名、ジュニア男女 12 名が参加

6月1日(金)～3日(土)にかけて、2007ASTC トライアスロンアジア選手権が韓国のトンヨン市で開催されます。

すでに発表されているように、日本代表選手として、エリート男女 6 名ずつ、U-23 男女 4 名ずつ、ジュニア男女 6 名ずつが選ばれ、さらにエイジグループとして 2 名の選手が出場します。

注目のエリートは、女子は上田藍(シャクリー・グリーンタワー・稲毛インター)、庭田清美(アシックス・ザバス)、関根明子(NTT 東日本・NTT 西日本)、中西真知子(NTT 東日本・NTT 西日本)、井出樹里(トーシン 日東紅茶 Team Ken's)、高木美里(湘南ベルマーレスポーツクラブ、神奈川)、男子は山本良介(トヨタ車体)、田山寛豪(チームテイケイ)、細田雄一(ウイダー)、西内洋行(西京味噌)、福井英郎(トヨタ車体)、山本淳一(K's-Y・グリーンタワー・稲毛インター、千葉)がエントリーしています。

2006年12月にアジア競技大会の正式競技としてはじめて登場したトライアスロンでは、日本選手は女子が2位と3位、男子が4位と5位に終わり、金メダルを獲得することはできませんでした。この悔しさをバネに、この半年間日本ナショナルチームをはじめ、日本選手は練習に励んできました。

このアジア選手権には、日本の直接のライバルとなる選手たちが多く出場します。女子では、ワン・ホンニ選手をはじめとする中国勢。男子では、ドミトリー・ガークとダニール・サブノフのカザフスタン勢と、昨年のアジア競技会で後塵を拝したダニエル・リー(香港中国)です。

これらの選手たちに打ち勝って、日本選手がメダルを独占することに期待がかかっています。

なお、このレースの結果配信は、JTU ホームページ([www.jtu.or.jp/](http://www.jtu.or.jp/))とメールニュースで配信されます。6月1日、2日とも、午後6～7時に配信いたしますので、ご覧いただければ幸いです。

<取材お問合わせ> (社)日本トライアスロン連合(JTU) 事務局 TEL03-5469-5401 (代)  
広報担当 : 090-3204-3126 / 090-1452-0828

